

NEWS LETTER



小5男子が語る その2 お母さんはぼくの目標



小5メンバー
Tくん



初めて知ったお母さんの気持ち

ぼくは先月セルラス主催の講演会に出た。
ぼくのお母さんが前に出て体験談を話していた。

お母さんの話はすごかった！
セルラスに入るまで、お母さんがぼくや姉と
あまり話せなくて悩んでいたなんて知らなかった。
セルラスで家族がいっしょに活動して、ひとつの
ものに向かえたから、今いっぱい家族で話せて
いることに気がついた。



ピアザ(※)の大切さを知った。
お母さんやピアザの人たちに、こうして活動できることを
感謝しないといけないと思った。



※ピアザ:メンバーが定期的に集まり、多言語活動を行う場

ぼくの自慢のお母さん

それにしてもお母さんはすごい！

家ではあんなに緊張すると言っていたのに、あんなに上手にスラスラと人前で話せて、まるで別人だった。

お母さんも、ぼくの目標の1人に入れないといけないと思った。

ぼくも緊張しないで、人前で大きな声で堂々といい話ができるようになりたいと思った。

ちょっと
恥ずかしいけれど
お母さんはぼくの
「自慢のお母さん」
だと思う。

